

■ 知床国立公園【世界自然遺産】

知床国立公園は、昭和39年(1964)6月1日に国立公園に指定、また平成17年(2005)南アフリカ共和国ダーバンで第29回ユネスコ世界遺産委員会で登録が決定したオホーツク圏にある国立公園です。

世界遺産登録の対象は、北海道の東端にあるオホーツク海に面した知床半島と、その沿岸海域となっています。

半島中央部は、千島火山帯が貫き、海岸線は荒く海に削られた地域で冬には世界で最も南端に接岸する流氷が訪れます。

流氷は大量のプランクトンを運び、サケやカニなどの豊富な魚貝類の生息地の源となります。

サケは秋に知床の河川を遡上し、ヒグマやオジロワシなどに捕食され、これらの動物の排泄物や死骸は、植物の栄養素として陸地に還元されます。

このような、海と陸との食物連鎖を見ることのできる貴重な自然環境が残る点が国際自然保護連合(IUCN)に評価され、2005年に世界自然遺産の登録物件となりました。

日本では、3件目の自然遺産登録で、海岸線から約3 km沖まで遺産登録地域となり日本で初めて海洋を含む自然遺産登録物件となっています。

◆知床半島の面積は38,636ha

◆観光名称地

知床岬・知床峠・プユニ岬・知床五湖・オロンコ岩・ゴジラ岩・フレペの滝(乙女の滝)・カムイワッカ湯の滝・オシンコシンの滝・マッカウス洞窟(ヒカリゴケ)

◆温泉地

・ウトロ温泉・岩尾別温泉・羅臼温泉・瀬石(セセキ)温泉～羅臼にある海岸に湧き出る温泉

◆知床連山

・知床岳(1254m)・知床硫黄山(1562m)・羅臼岳(1660m)・遠音別岳(1330.2m)など

注意:斜里岳(1547m)は知床国立公園に含まれていると思われている方が大半ですが、正式には斜里岳道立自然公園に属しています。

●一般財団法人知床自然大学院大学設立にむけて

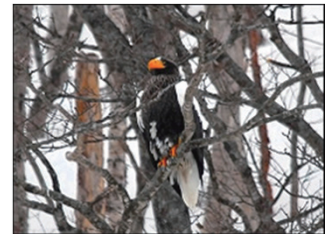
世界自然遺産・知床を野生動物の保護管理を学び、野生動物の専門家を育てる専門職大学院大学設立を、平成29年(2017)開学を目指して「知床自然大学院大学設立財団」が設立されています。

知床観光の問合せ

知床斜里町観光協会 Tel(0152)22-2125/知床観光案内所 Tel(0152)24-2639



▲知床半島



▲オジロワシ